

# 【概略】平成26年度 由利本荘市財務状況把握の結果概要について

## 総合評価

**債務償還能力**〔地方債等の債務の大きさとその償還原資を獲得する能力〕

問題なし

実質債務月収倍率(②)が低いことから、債務の水準に問題はない。  
また、行政経常収支率(④)が高いことから、償還原資の水準に問題はない。

**資金繰り状況**〔経常的な収支と積立金等の備えからみた資金余裕状況〕

問題なし

行政経常収支率(④)が高いことから、経常的な収支の余裕度の水準に問題はない。  
また、積立金等月収倍率(③)が高いことから、資金繰り余力の水準に問題はない。

## 財務指標

指標	①債務償還可能年数	②実質債務月収倍率	③積立金等月収倍率	④行政経常収支率
	$\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}\right)$	$\left(\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$	$\left(\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}\right)$	$\left(\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}\right)$
問題なし	7.3年	17.0月	3.7月	19.5%
やや注意		18月	3月	10%
注意	15年	24月	1月	0%

問題なし

(債務系統)

債務償還能力

問題なし

(収支系統)

資金繰り状況

問題なし

(積立系統)

## 今後の見通し

今後の見通しについては、提出していただいた収支計画(平成31年度)に基づき実施したヒアリングの結果を記載しています。

### ■債務償還能力

- 行政経常収支率は、10%以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。
- 実質債務月収倍率は、18月未満であり低いことから、問題のない水準であると考えられる。

### ■資金繰り状況

- 行政経常収支率は、10%以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。
- 積立金等月収倍率は、3月以上であり高いことから、問題のない水準であると考えられる。